

# 地球環境と産業化研究会（SGEIS）

## 「地球環境とエネルギーの基礎講座」実施報告書

### 概 要

テ ー マ：環境問題と法 ～ 其の一「廃棄物・資源循環」

内 容：環境条約や国内法等の法の全体像を、できるだけ具体的な事例をもとに学び、環境問題の解決のための重要な一つのツールである環境法の基本的で正確な知識を得る。  
その第一弾に、循環社会とはどのような社会か、廃棄物の適正な処理、モノの循環的な利用、国際資源循環、プラスチックごみ問題などについて学び、あわせて若者の取り組み事例を紹介いただき、法に関する身近な問題点を掘り下げる。

【講 義】廃棄物・資源循環 神戸大学大学院法学研究科教授 島村健

【発 表】若者の取り組み事例 ― 神戸大学附属中等教育学校「課題研究(卒業研究)」から

①身近なものを利用したろ過装置の研究―発展途上国で使用することを目指して―

原口清菜

②使いやすい紙ストローの条件とは―紙ストローの性質と使用感に着目して―

内田愛菜

③神戸市におけるコンポスト普及に向けた課題と解決策

中村碧風

日 時：2022年12月18日（日） 13時30分～15時50分

13:30～13:40 主催者挨拶・進行について

13:40～14:35 講 義（講義45分、質疑応答10分）

14:40～15:00 発表①（発表10分、意見交換10分）

15:00～15:20 発表②（発表13分、意見交換7分）

15:20～15:45 発表③（発表18分、意見交換7分）

15:45～15:50 事務局連絡・終了

場 所：オンライン形式（Zoom ミーティングアプリ）

主 催：地球環境と産業化研究会

参加者：22名、うち学生・生徒5名（28名、うち学生・生徒6名）（ ）の数字は参加申込者数

### 配布物

- 島村 健、『循環型社会づくりのための法』
- 原口清菜、『身近なものを利用したろ過装置の研究―発展途上国での使用を目指して―』
- 内田愛菜、『使いやすい紙ストローの条件とは―紙ストローの性質と使用感に着目して―』
- 中村碧風、『コンポスト普及に向けた課題と解決策』
- アンケート
- 地球環境と産業化研究会（SGEIS）リーフレット

## 内 容

- 【講義】 廃棄物・資源循環（循環型社会づくりのための法）

循環型社会づくりのために法はどのような役割果たし得るか、そのための法制度の基本的考え方について講義いただいた。容器包装リサイクル法や家電リサイクル法など『Recycle のための法』について学んだ。製造業者への拡大生産者責任により、製品の消費後に生じる環境負荷も考慮した、リサイクルしやすい製品設計（環境配慮設計）を行うように促すことができることを知る。

質疑で3名の発言があった。『『つくる責任』を目的とする法（拡大生産者責任）だけでなく、『つかう責任』を目的とする法は？』、「拡大生産者責任の拡大、強化の必要性」について議論された。

- 【発表】 若者の取り組み事例

神戸大学附属中等教育学校での3年生から6年生で実施される『課題研究（卒業研究）』では、自身の興味・関心に従って1人1テーマを設定、一人ひとりが探究手法を自分自身で考えた探究が行われている。今回は、5年生の3名から現在進行中の課題研究について発表いただいた。各発表者から求められた以下の内容について、発表者と参加者との間で意見交換が行われた。また参加者への事後アンケートに、発表者へのご意見やアドバイスなどの記載が多くあった。

- ①原口『身近なものを利用したろ過装置の研究』

- ・ろ過水を透明にすること
- ・簡易ろ過装置に頼っていた発展途上国は一昔前の話、これからどう進める？
- ・吸光度測定法以外で透明度を評価する方法はあるか？

- ②内田『使いやすい紙ストローの条件とは』

- ・研究内容や実験手順が適切か？

- ③中村『コンポスト普及に向けた課題と解決策』

- ・「臭い・虫・手間」の少ないコンポストの具体化
- ・アンケートのデータ分析（どのデータとどのデータの関係を調べればよいか分からない）
- ・テーマに一貫性があるか、論点がズれていないか

以上(世話人 土井淳 記)